



No61

# 大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyo

Elementary School

<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

平成29年12月25日②

1・2学期の保護者アンケートの記述式の意見・感想をまとめました（保護者アンケートで共通して2件以上出された意見・要望や学校評議員さんをご覧になって強調されていた点を中心にまとめました）。

## 保護者アンケートの集計結果 その3

（記述式の意見・感想のまとめ）

たくさんのご意見・感想をいただき、ありがとうございました。

運動会については、「雨天時の連絡や対応、判断が良かった」「体育館の開放などの臨機応変な対応が良かった」「子どもたちのやる気や関わり、協調性が感じられた」「大正の子は素直で一生懸命で良い」など、8割以上が好い評価・感想をいただきました。ただし、「日曜開催にしてほしい（2件）」「児童や保護者の競技種目では安全面の検討・配慮が必要（3件）」「紅白の競技に差がつかないように工夫してほしい（2件）」の意見・要望がありました。

学習発表会については、「(生き生きとして・楽しそうにして) 子どもたちの意欲が感じられる」「先生方の声かけが良かった」「子ども同士が協力し合っていてすごかった」「全校がまとまっている」「各クラスが工夫されていて良かった」「せりふの声がよく聞こえて良かった(よく頑張った)」など、9割前後が好い評価・感想をいただきました。ただし、「日曜開催にしてほしい（3件）」の要望・意見がありました。

運動会や学習発表会の土曜開催については、職員会議・PTA役員会議・学校評議員会等の会議の場での協議内容や最終の3学期の学校評価などを見て今一度検討したいと思います。

その他の記述につきましても、多くの意見・要望をお寄せいただきありがとうございました。1・2学期をまとめますと、「学校からの詳しい情報があって助かる（通信・連絡帳・電話連絡）」「先生方と保護者の連携が良い」などの好い評価が約6割でした。ただし、「児童の安全面・生活面・社会性の指導や保護者との連携をより良くしてほしい（3件）」の他、教育環境、水泳授業の時期、学童との連携、学力向上、学級づくりなど、改善要望や助言等の意見が約4割でした。次年度に向けてたいへん参考になりました。

## 樹音（じゅね）音楽教室開催!! ～ 子どもたちは体全体で音の世界を満喫しました ～

◇◇◇音の世界に魅了され、ゆったりとした時間を過ごすことができました。◇◇◇

12月21日（木）に音楽セラピー樹音の皆さんをお迎えして、1・2年生合同音楽教室を実施しました。写真はその様子を収めたものです。ハンドベル演奏や器楽演奏、ブラックパネルでの音楽劇、曲に合わせて体全体を使ったリズム運動や読み聞かせなど時間のたつのも忘れて楽しむことができました。子どもたちは、感動する表情で楽しく参加できたようです。「体で感じる音楽の力はすごい」と改めて考えることができました。下の写真は、その様子です。代表の村井孝子様からは、「音楽セラピー樹音の活動について詳しく知りたい方はいつでもご相談ください。」とのことでした。必要な方は、学童の入り口付近の各種ご案内コーナーに資料がありますのでご覧ください。



樹音・音楽教室は『おびひろっ子絆支援事業』の一環として実施しています。

## 思いをえがく絵手紙教室 ～3・4年生～

12月7日(木)に3年生、12月21日(木)に4年生というように、12月には、絵手紙教室が2回開催されました。十勝絵手紙の会の皆さんには、「生きる喜びを感じる絵手紙の深い味わい」「あきらめずに努力するなどの自分の中にある可能性の開発」など、絵手紙の良さ・楽しさを教えていただきました。ありがとうございました。上段が3年生、下段が4年生です。



## シリーズ「情報社会に生きる力を養う」No.2

(学校での指導と家庭内でのルールづくりの推奨①) 学校では、児童が携帯電話等を学校へ持ち込むことを原則禁止しています。やむを得ずもってきた場合は、担任等で下校までお預かりすることになっています。また、ネット上での書き込みなどからのいじめ防止や犯罪被害の予防を含め指導しているところです。また、学習指導要領に基づき、各教科等において、発達段階に応じた情報モラルに関する指導も適時適切に行っています。さらには、マナーや危険性を学んだ上での基本的な安全対策、生活習慣の指導、思いやり等の心の教育など多岐にわたる内容について、学校でも可能な範囲で指導していこうとしています。

また、家庭内でのルールづくりも大切です。インターネットに接続して使用する機器(パソコン、スマートフォン、ゲーム機等)については、子どもに持たせるか持たせないかの判断を、発達段階等に応じて検討することが必要です。それは、メリットとデメリット(リスク)があるからです。正しく調べて、「賢く安全に使える」ようにするために親子で話し合った上で、子どもの発達段階や知識に応じた家庭におけるルールづくり(使用時刻制限・ネット使用報告・食事時の中断・基本的マナーなど)など、親子が一緒に取り組む環境が大切です。右の七中エリアの日のアウトメディアデーを利用して考える日・実践の日として利用するのもよいかと思います。保護者からは、「中学校卒業するまで個人所持は必要ないと思うのですが。」「持たせた以上は、夜9時以後は使用させたくない。」「ネットにはまってもう依存症になりそうです。」などの後悔する感想も少なくありません。また、学校評議員さんからも、「自転車に乗りながら(歩行中に)スマートフォンを見ていたりするのは、たいへん危険です。」「ニュースでも死亡事故が発生していますが、自転車の傷害保険をかけている場合でも運転中のスマートフォン使用等、自己による過失がある場合は保険が適用されない場合があるので気をつけてください。」などの貴重なご意見をいただいています。